

中国の春節と二十四節気

豊田美紀

中国の春節と二十四節気

豊田美紀

2月になり立春を迎え暦の上では春になりました。今月5日には中国では春節を迎えました。東京都内では中国の新年を祝して東京タワーの色が「紅」に変わりました。中国は旧暦を用いているので春節の日程は毎年変わります。そのため2019年は2月5日が春節でした。今年立春の2月4日は中国では大晦日に当たる「除夕」でした。

春節は1週間ほど休暇があります。昨今、長期休暇を利用して国内・海外旅行をする人たちも多いようです。ニュースでも話題になりましたが訪日中国人は今年の春節も多かったですね。

一般的に中国では春節には家族や親せきが全員集まり一緒に過ごします。普段は故郷から離れて遠方で暮らす人たちも里帰りして家族団欒を楽しみます。大晦日には「春晚」というテレビ番組を皆で楽しむようです。日本の「紅白」と似たような番組です。今年は私も「春晚」をネットで観てみました。以前より語学力が付いているようで意外と内容も分かる感覚で面白かったですし嬉しかったです。これも頑張って授業に行っている甲斐があったのでしょうか。

春節にはそれぞれの家庭で特別な御馳走を頂くようです。中国遼寧省大連市に住む中国人の親友宅では今年はお父さんが腕を振るって新年の御馳走を作ったとのこと。写真を掲載しておきます。下記写真のお魚料理は友人の自信作だということです。写真掲載につき快諾してくれた友人に感謝します。ありがとうございます。

大連市は海に面している街で海鮮料理がとても美味です。10年来の友人なので私も何度も大連を訪ねており、友人宅も訪ねたことがあります。この友人のお父さんの料理は本当に絶品です。大連の名物の一つはやはり水餃子ではないでしょうか。海鮮餃子は絶品です。この友人宅のホームメイド海鮮餃子は格別美味です。友人によるとそれぞれの家庭ごとにオリジナルのレシピがあるそうです。

また今年夏には大連の友人を訪ねたいと思います。山西省太原市からは少々遠いですが、大連の星海公園を再び歩きたいです。海風が心地よく夕景や夜景が綺麗な公園です。夏にはビール祭りの会場となります。

さて、今月は立春がありましたのでそれに因んで中国の二十四節気について触れます。日本にも二十四節気はありますが少し異なる点もあります。中級班の閲読クラスのテキスト



トに二十四節気の話が載っていました。中国は世界中で最も早く暦を使用した国の一つです。二十四節気は中国古代人民の気象暦法の総括であります。

1. 立春：立は開始の意味を表す。立春は春の始まり。
2. 雨水：降雨の開始。雨量が増々多くなる。
3. 惊蛰：蛰は隠れる・隠すという意味。土の中で眠っていた動物が目覚めます。
4. 春分：分は均一に分けるという意味。昼間と夜間が同じ長さ。
5. 清明：天気が澄み切って清々しい。
6. 谷雨：雨量が増々多くなる。農作物の生長に利あり。
7. 立夏：夏の始まり。
8. 小満：麦の生長開始。
9. 芒种：麦の成熟。
10. 夏至：暑い夏の到来。
11. 小暑：暑は熱いという意味。小暑は天気が暑くなる時期の始まり。
12. 大暑：一年中で最も暑い時期。
13. 立秋：秋の始まり。
14. 处暑：处は停止の意味。暑い日の終結。
15. 白露：天気が涼しくなる頃。
16. 秋分：昼間と夜間が同じ長さ。
17. 寒露：露水が更に冷たくなる。間もなく霜が降りる頃。
18. 霜降：天気が寒くなる。霜が降り始める。
19. 立冬：冬の始まり。
20. 小雪：雪が降り始める。
21. 大雪：天気が更に寒くなる。降雪量が増々多くなる。
22. 冬至：寒くて冷たい冬の到来。
23. 小寒：寒冷な天気が本格的に訪れる頃。
24. 大寒：一年中で最も寒い時期。

日本では全ての節気については言われていないかと思いますが、中国ではカレンダーに表記されているのは勿論のこと、四季を語る上で「今日は〇〇の日」という具合に取り沙汰されます。日本では

冬至には南瓜を食べたりゆず湯に浸かる風習ですが、中国では冬至には餃子や**圓烫**(白玉団子のようなものが入ったスープ・お汁粉のようなもの)を食べます。私も**圓烫**を食しました。

とても美味です。日本人には食べやすい料理だと思います。冬至に餃子や**圓烫**を手作りす



る家庭は多いようです。

間もなく後期クラスが始まります。私も太原に戻る日が近づいています。後期クラスに備えて再度スーツケースの荷造りなどを始めたところです。サバイバル生活の後半戦！どのようなことが待ち受けているのでしょうか。再び太原では楽しみつつ尽力します。